

# ◆ 教育学研究科

# 教育学研究科の アドミッション・ポリシー

本研究科は教育研究上の目的を実現するに、学生、社会人、現職教員、外国人の中から、次のような資質・能力・意欲を有する者を求める。

1. 幅広い教養と高度な専門的知識を基に、現代の教育諸課題を解決する高度専門職業人としての幼稚園、小学校、中学校、高等学校における教員、保育・福祉関係職員になろうとする意欲のある者。
2. 教育諸科学の学修を基に、教育現場における実践と理論を統合する研究に携わりたいと意欲を持つ者。
3. 現代の教育諸科学を多面的に理解し、理論的に裏打ちされた対応の仕方や解決の方策を提示できる、指導的教員、保育・福祉関係職員になりたいと意欲を持つ者。

# ■ 教育学研究科

## 特 色

1. 教育学研究科には教育学専攻を置き、高度職業人としての教員、実践的な教育研究者及び指導的教員の養成を目指します。
2. 校地は神宮の鎮まります清浄閑静な伊勢の地にあり、本学の設立の主旨からも本学と神宮とは密接な関係にあることから研究には絶好の位置と環境にあります。
3. 学会の碩学と中堅の教授陣が、緊密な協力のもとに研究と教育を進め、学生の指導については、各教員の専門分野に応じ徹底した個人教育を期しています。
4. 教育学専攻においては、現職教員などの社会人受け入れを可能とするため昼夜開講制を導入、現代の教育上の諸問題に対する臨床的实践力に重きを置いた教育研究を行い、総合力・応用力を有する高度職業人としての教員の養成、実践的な教育研究者の養成、指導的教員の養成を目指します。
5. 有職者等を対象に長期履修制度を設けています。

## 修業年限

修士課程      教育学専攻      2年（長期履修の場合3年～4年）

## 入学定員

修士課程      教育学専攻      8名

## 修了要件及び履修方法

基礎科目4単位、専門科目12単位以上（「教育科学分野」、「個別教育分野」、「教育課題分野」の3つの分野のうち、主とする分野から6単位以上）、演習・研究科目10単位以上の合計30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。

## 学位の授与

修士課程修了者には皇學館大学修士（教育学）の学位がそれぞれ授与されます。

## 資 格

### 教員免許状

修士課程において、所定の単位を修得することにより、次の専修免許状が授与されます。

| 専 攻       | 取 得 で き る 免 許 状   |
|-----------|-------------------|
| 教 育 学 専 攻 | 小学校教諭専修免許状        |
|           | 幼稚園教諭専修免許状        |
|           | 中学校教諭専修免許状（保健体育）  |
|           | 高等学校教諭専修免許状（保健体育） |

※免許教科については、取得している一種免許の教科に限ります。

# 修士課程

学部教育の成果を踏まえて、  
さらに深い学識と研究能力を身につけます。

## 教育学専攻 (令和7年度 参考)

|             |         | 授 業 科 目                                     | 形態 | 単位数 |
|-------------|---------|---------------------------------------------|----|-----|
| 科 基<br>目 礎  |         | 教 育 学 特 論                                   | 講義 | 2   |
|             |         | 教 職 特 論                                     | 講義 | 2   |
| 専 門 科 目     | 教育科学分野  | 教 育 哲 学 特 論                                 | 講義 | 2   |
|             |         | 教 育 史 特 論                                   | 講義 | 2   |
|             |         | 教 育 社 会 学 特 論                               | 講義 | 2   |
|             |         | 教 育 方 法 学 特 論                               | 講義 | 2   |
|             |         | 教 育 課 程 特 論                                 | 講義 | 2   |
|             |         | 教 育 心 理 学 特 論                               | 講義 | 2   |
|             |         | 発 達 心 理 学 特 論                               | 講義 | 2   |
|             |         | 学 校 心 理 学 特 論                               | 講義 | 2   |
|             | 個別教育分野  | 学 校・学 級 経 営 学 特 論                           | 講義 | 2   |
|             |         | 教 育 臨 床 心 理 学 特 論                           | 講義 | 2   |
|             |         | 教 育 評 価・心 理 検 査 特 論                         | 講義 | 2   |
|             |         | 特 別 支 援 教 育 特 論                             | 講義 | 2   |
|             |         | 幼 児 教 育 特 論                                 | 講義 | 2   |
|             |         | 教 科 教 育 特 論 (国 語 科 教 育)                     | 講義 | 2   |
|             |         | 教 科 教 育 特 論 (社 会 科 教 育)                     | 講義 | 2   |
|             |         | 教 科 教 育 特 論 (算 数 科 教 育)                     | 講義 | 2   |
|             |         | 教 科 教 育 特 論 (理 科 教 育)                       | 講義 | 2   |
|             |         | 教 科 教 育 特 論 (家 庭 科 教 育)                     | 講義 | 2   |
|             |         | 教 科 教 育 特 論 (体 育 科 教 育)                     | 講義 | 2   |
|             |         | 教 科 教 育 特 論 (英 語 科 教 育)                     | 講義 | 2   |
|             |         | 教 科 教 育 特 論 (道 徳 科 教 育)                     | 講義 | 2   |
|             | 教育課題分野  | 生 徒 指 導・進 路 指 導 特 論                         | 講義 | 2   |
|             |         | 学 校 カ ウ ン セ リ ン グ 特 論                       | 講義 | 2   |
|             |         | 教 育 相 談 特 論                                 | 講義 | 2   |
|             |         | 身 体 運 動 教 育 特 論                             | 講義 | 2   |
|             |         | ス ポ ー ツ・健 康 学 特 論                           | 講義 | 2   |
|             |         | 数 学 教 育 内 容 研 究                             | 講義 | 2   |
|             |         | 数 学 教 育 学 特 論                               | 講義 | 2   |
|             |         | 理 科 教 育 内 容 研 究                             | 講義 | 2   |
|             |         | 理 科 教 育 学 特 論                               | 講義 | 2   |
| 演 習・研 究 科 目 | 専門・研究科目 | 専 門 演 習 A (教 育 科 学)                         | 演習 | 2   |
|             |         | 専 門 演 習 B (個 別 教 育・教 育 課 題)                 | 演習 | 2   |
|             |         | 課 題 研 究 (研 究 指 導) I                         | 演習 | 2   |
|             |         | 課 題 研 究 (研 究 指 導) II                        | 演習 | 2   |
|             |         | 課 題 研 究 (研 究 指 導) III                       | 演習 | 2   |
|             |         | 課 題 研 究 (研 究 指 導) IV                        | 演習 | 2   |
| 実 習 科 目     | 実習科目    | 心 理 教 育 的 ア セ ス メ ン ト 基 礎 実 習               | 実習 | 2   |
|             |         | 学 校 カ ウ ン セ リ ン グ・コ ン サ ル テ ー シ ョ ン 基 礎 実 習 | 実習 | 2   |

教授 大杉 成喜 (おおすぎ なりき)

所属学会◆日本教育工学会、日本特殊教育学会、日本教育情報学会、  
日本育療学会、日本LD学会、日本肢体不自由教育研究会  
主な著書◆支援機器を用いた合理的配慮概論 (建帛社,2021)

シリーズ障害児のためのステップアップ授業術 特別支援教育のための「ちょいテク」支援グッズ36－アシスティブテクノロジー・小ネタ集 (明治図書, 2006)

シリーズ障害児のためのステップアップ授業術「特別支援教育おススメ『ちょいテク』支援グッズ31」明治図書, 2007)

くらしに役立つ理科 (東洋館出版社, 2013)

特別支援児の心理学理解と支援 [新版] (北大路書房, 2015)

視線でくらくコミュニケーション (日本肢体不自由児協会, 2019)

主な論文◆大学生の特別支援教育に関する知識・理解の現状と課題 (3)－「特別支援教育の基礎」の対面講義とオンデマンド講義の比較－ (皇學館大学教育学部学術研究論集,4,2022)  
障害児を支援するPC-VOCAの開発 (日本教育情報学会誌,23, 2007)

私立大学の教員養成課程における特別支援教育推進の役割 (教師教育研究,22, 2009)

障害のある子どものためのアシスティブ・テクノロジー・コンシダレーション方法の開発 (日本教育情報学会誌,25, 2009)

P県の高専教員の特別支援教育に対する意識について－経年調査を通して－ (熊本大学教育学部紀要,61, 2012)

日韓の特別支援学校教員の意識の比較 (熊本大学教育学部紀要,62, 2013)

重度・重複障害教育におけるICT活用の現状と課題 (熊本大学教育学部紀要,62, 2014)

特別支援学校高等部における生徒指導の現状と課題 (熊本大学教育学部紀要,64, 2015)

特別な配慮を要する児童の運動部活動参加についての研究－熊本県内小学校運動部活動の社会体育移行を見据えて－ (熊本大学教育学部紀要,65, 2016)

視線入力を活用した障害の重い児童生徒の教材製作環境の提案 (日本教育工学会論文誌,40, 2017)

### 特別支援教育特論

内外の特別支援教育の動向を歴史・社会的背景・理念・制度から分析・考察する。新しい法制度や学習指導要領等を基に、インクルーシブ教育を含む広義の特別支援教育の在り方とその支援について、AACやアシスティブ・テクノロジー等最新の情報技術をあわせて考察する。特に、具体的な支援場面に即した解決策を考えようとする能力を身につける。

## 教授 加藤 純一 (かとう じゅんいち)

所属学会◆日本武道学会、日本家庭教育学会、身体運動文化学会、日本体育学会、日本スポーツ哲学会、日本体育科教育学会、全国小学校体育研究連盟

主な著書◆日本武道学研究（島津書房、1988）、スポーツと健康（道と書院、1993）、武道文化の研究（第一書院、1995）、スポーツ学の視点（昭和堂、1996）、身体運動のアスペクト（道と書院、1988）、武と知の新しい地平（道と書院、1988）、柳生新陰流の研究（文理、2003）、武道文化の探求（不昧堂出版、2003）、兵法家伝書に学ぶ（日本武道館、2003）、絵図と写真に見る剣道文化史（日本武道館、2014）、武道研究の道標（デザインエッグ、2018）

主な論文◆「健康スポーツ科」における講義の実施形態と学生の意識について（目白大学高等教育研究第1巻、1995.3）、自己課題化学習過程の方法に関する基礎的研究（目白大学高等教育研究第5巻、1999.3）、一般教育における必修としての大学保健体育科目の授業目標と成績評価に関する調査検討（全国大学体育連合大学体育第73巻、2001.3）、「武芸図譜通志」에 보는 일본의 검술（二十四班武芸国際学術会議集、2002.5）、FROM KOREA THE INTERNATIONALISATION OF KUMDO PART1（KENDO WORLD第4巻 第3号、2008.12）、小学校体育において武道的身体を育成させるための指導方法に関する一試論（文教大学大学院研究ジャーナル第4巻 第1号、2010.10）、体育授業における「動きの言語化」に関する一試論：鉄棒運動を中心に（文教大学教育学部紀要第44巻、2010.12）、動きの言語化を図る方策を考える（体育科教育第59巻 第11号、2011.10）、体育授業における「動きの情報化」に関する一試論：マットを用いた運動を中心に（文教大学教育学部紀要第45巻、2011.12）、学校体育が目指しているもの－新学習指導要領からみえてくるもの－（日本家庭教育学会家庭フォーラム第24巻、2012.3）、体育・保健体育での「言語活動の充実」の展開に関する一考察（文教大学教育研究所教育研究所紀要第21巻、2012.12）、体育に固有の言語活動とその充実に向けて（大修館書店体育科教育第62巻 第6号、2014.6）、小中連携からみる体育・保健体育のあり方について（文教大学教育学部紀要第49巻、2015.12）、反転学習に関する意識調査の分析と課題－反転学習導入前後の学生の学習行動の変容を中心に－（皇學館大学教育学部学術研究論集第2号、2020.3）、VTRによる振り返りを用いた模擬授業の受容について－体育系教育法講義での実践を通して－（皇學館大学教育学部学術研究論集第2号、2021.3）

### 教科教育特論（体育科教育）

学校現場での体育、保健体育の授業における課題を抽出し、その課題を解決するための方策について考察を行う。特に「深い学び」を実践するために必要となる課題に着目し、体育、保健体育における「深い学び」とは何かについて考えていきたい。

---

## 教授 勢力 稔 (せいりき みのもる)

所属学会◆日本理化学協会、日本化学会

主な著書◆「調査研究事業を生かした教員の資質向上」時事通信社『私の学校経営』内外教育第6552号・合併号、2017（共著）「企画委員会・運営委員会に関する取り組み」『教務主任ミドルマネジメント研修BOOK』教育開発研究所、2014（共著）「海洋汚染」『わたしたちは地球人－地球環境問題指導者マニュアル』三重県保健環境部、1991（共著）

主な論文◆「知識の活用能力の向上を目指すアクティブ・ラーニングの実践と評価に関する考察」（公益社団法人日本教育会「平成28年度第7回教育実践顕彰 優秀賞論文」、2017）「知識の活用能力の向上を目指す英語実践活動－アクティブ・ラーニングの視点からの授業設計診断－」（公益財団法人教育公務員弘済会「平成28年度学校教育研究助成事業 学校教育研究論文審査会」優良賞論文、2016）「科学的な思考を育む理科教育に関する考察」『平成27年度個人研究助成事業』（公益財団法人教育公務員弘済会「平成27年度個人研究助成事業個人研究」入選論文、2015）「高等学校におけるコミュニティ・スクールの実践研究～紀南高等学校学校運営協議会の実態から見た新たな関係性～」(公益社団法人日本教育会、「平成24年度教育実践顕彰」掲載日本教育会ホームページ、2013)「ITを活用した教職員研修システムについて－特にWBTシステム:「ネットDE研修」導入の成果を中心に」(三重中京大学地域社会研究所報第22号、2010)「自作ガスビュレットの開発と実践応用に関する研究2－固体密度の測定とその応用－」(日本化学会「化学と教育」第45巻1号)、1997)

### 教育学特論

現代の学校教育で問題となっている様々な課題を、教育学の視点を踏まえて分析し、課題解決に至る道筋を、実践的に考察する。ここでは、教育学の理論を具体的事象に当てはめることで、実践するうえで必要な知識および教育学の基本的概念を身に獲得し、具体的な場面に即した解決策を考えられる能力を培う。

### 教育方法学特論

教育方法学特論では、教育方法学の実践的な到達点を探究する。特にインストラクショナルデザインにより授業設計が可能な授業力を培う。具体的には、教室での教師による指導場面を取り上げ、学習目標を明確に定めて効果的・効率的・魅力的な学習環境をデザインするとともに、授業改善できる能力を培う。

### 生徒指導・進路指導特論

児童・生徒の発達や今日的な問題を認識し、生徒指導や進路指導の意義と方法について理解し、実践的方法を獲得することを目的とする。この目的を果たすため生徒指導が、問題を起こした児童・生徒のみならず、一般児童・生徒に対して学校教育活動全体を通じて援助・指導していくことや、児童・生徒が抱える課題の動向を把握し、生徒指導及び進路指導上、教員に求められる役割を議論しながら考察する。

---

## 教授 中條 敦仁 (ちゅうじょう あつし)

所属学会◆全国大学国語教育学会、日本国語教育学会、解釈学会、日本笑い学会、日本保育学会、日本乳幼児教育学会、和歌文学会、中世文学会

主な著書◆『国語科教材研究の起点－素材と向き合うことの意義と視点』（単著、ナカニシヤ出版、2020）  
『新編「私的には…」からの脱出』（共著、京都書房、2012）  
『コミュニケーション論－ゆたかなコミュニケーションをめざして－』（共著、創文社、2006）

主な論文◆「同年齢・同世代交流から異年齢・異世代交流へ」（『月刊国語教育研究』635,2025）  
「幼児教育における絵本選択の視点に関する試論－小学校国語科への学びの連続性を意識して－」（『皇學館大学教育学部課題研究』1,2021）  
「草稿と定稿の本文異同を生かした深い学びを得るための発問－ごんぎつねの場合－」（『皇學館大学教育学部学術研究論集』1、2019）  
「興味付けのための読み聞かせ絵本の分析－認知行動療法理論の応用－」（『日本乳幼児教育学会第28回大会研究発表論文集、2018）  
「「ト書き」に注目した小学校国語科物語の授業－朗読のための文章読解と発問について－」（『同朋文化』13、2018）

### 教科教育特論（国語科教育）

「言語」は人と人、人と物も繋げる最重要の媒介物であり、その言語能力を育てる科目が国語であり、この国語は学習指導要領において、全科目の基礎科目と位置づけられている。本講義は、「言語」に注目し、文学的視点、構造学的視点、心理学的視点による教材分析、その結果を踏まえ言語能力育成を効果的におこなうための授業開発をおこない、主体的・対話的で深い学びを実現するための次世代型の国語を創造することを通して教科教育の根幹をなすための国語教育のありかたをさぐることを目的とする。

## 教授 中松 豊 (なかつ ゆたか)

所属学会◆日本応用動物昆虫学会、日本生物教育学会、Asian Association for Biology Education

主な著書◆・バイオリジカルコントロール第2版. 2022.04  
・寄生バチと狩りバチの不思議な世界. 2020.06  
・伊勢神宮の森に棲息する生き物どうしの関係－寄生蜂の生活について－. 2020.03  
・昆虫を使った教材開発と持続可能な理科教育支援 2018.02  
・Recent Advances in the biochemistry, toxicity, and mode of action of parasitic wasp venoms. 2007.11

主な論文◆・蛍光インクを異物として用いた昆虫の血球による食作用の観察 生物教育. 2021.  
・Cky811 protein expressed by polydnavirus and venom gland of *Cotesia kariyai* regulates the host *Mythimna separata* larvae immune response function of C-type lectin responsible for foreign substance recognition which suppresses its melanization and encapsulation Archives Of Insect Biochemistry And Physiology. 2021.04;  
・高等学校生物基礎におけるアワヨトウ幼虫の血球を使った簡易かつ明瞭な食作用の観察・実験 昆虫と自然. 2021.03; 56 (3): 31-34.  
・Meteorus pulchricornis (Wesmael) (Hymenoptera, Braconidae) teratocytes release Mp19 protein in MpVLP, suppressing the function of hyper-spreading

hemocytes in *Mythimna separata* Current Topics in Biochemical Research. 2017; 17 77-94.

・Potential Host Range of the Larval Endoparasitoid *Cotesia vestalis* (=plutellae) (Hymenoptera: Braconidae) International Journal of Insect Science. 2017; 9 1-12.

### 教科教育特論（理科教育）

文部科学省の小学校学習指導要領の理科においては、小学生に実感を伴った理解をさせることが重要であり、授業において実験・観察を多く取り入れなければならないと記してある。本講義では理科の授業における実験・観察の意義と授業への導入方法、また、実験・観察をする上での配慮する点や技術的な手法、また新たな簡易実験などの開発方法などを修得することを目的とする。

## 教授 吉田 直樹 (よしだ なおき)

所属学会◆日本心理学会、日本教育心理学会、日本発達心理学会、人間環境学会

主な著書◆『現代応用社会心理学講座 2：快適環境の社会心理学』（共著、ナカニシヤ出版、2001.6）

主な論文◆「スクールカウンセリングにおける相談室の環境セッティングについて」（『学校カウンセリング研究』10、2008.12）

### 発達心理学特論

発達心理学に関する理論と研究法を発生的アプローチの観点から学習した上で、生活環境との相互作用の中で繰り上げられる適応の様相を学ぶ。

### 教育評価・心理検査特論

学校臨床の場で用いられる心理検査を中心に、その理論と技法を学び、結果の解釈について事例をもとに考える。

### 教育相談特論

学校における教育相談について、理論的に考察するだけでなく、実際の事例をもとに課題を見出し、解決を導くアプローチに関して議論する。

### 心理教育的アセスメント基礎実習

学校場面で広く用いられる知能検査法・発達検査法を中心に演習し、アセスメントを活かすためのアプローチやテストバッテリーの組み方について考える。

### 学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習

学校カウンセリングの理論と方法を習得し、学校の中でカウンセリング・コンサルテーションを実践するための基礎技能を身につける。

## 研究科長（教授） 渡邊 賢二 (わたなべ けんじ)

所属学会◆日本教育心理学会、日本心理学会、日本発達心理学会、日本青年心理学会、日本家族心理学会、日本カウンセリング学会、日本学校カウンセリング学会、日本学校心理学会

主な著書◆『思春期の母親の養育態度と子育て支援－母親の養育スキルとは－』（単著、ナカニシヤ出版、2013）、『理想化した親の像が崩れるとき－変化していく子どもと親の関わり方』（金子書房、2013）、『家族のための心理学－「家族内暴力と家族心理臨床」』（共著、保育出版、2005）、『青年期発達百科事典－「養育の実践とスタイル」』（共著、丸善出版、2014）

主な論文◆・「教育・保育現場における「気になる子」の行動認知－保育者と保育者志望学生を比較して－」（『皇學館大学紀要』（2024）  
・「母親と父親の養育態度と精神的健康、学校適応感との関連－小学5年生から中学3年生を対象として－」（『皇

學館大学紀要』(2023)

- ・「中学校におけるソーシャルスキル・トレーニング－教師研修を通じた学校規模での実践－」『皇學館大学教育学部学術研究論集』(2022)
- ・「発達に課題のある児童との信頼関係を構築・維持するための教師行動－小学校教師を対象として－」『皇學館大学紀要』(2022)
- ・「子どもが認知する両親の養育スキルと子どもの自己開示、学校適応感との関連」『皇學館大学紀要』(2021)
- ・「教師・保護者・友人からの賞賛と自尊感情、学校適応感との関連」『皇學館大学紀要』(2020)
- ・「青年期の親子関係をどのように捉えるか?－水本論文へのコメント－」『青年心理学研究』(2020)
- ・「児童期後期から青年期前期の子どもと母親が認知する養育スキルと母子相互信頼感、子どもの心理的適応との関連－母子ペアデータによる検討」『発達心理学研究』(2020)
- ・「小学校における読み書き障害の検査とアセスメント」『臨床発達心理実践研究』(2019)
- ・「保育者の信頼感尺度の作成－幼稚園教諭と保育士別の専門性との関連－」『皇學館大学紀要』(2019)
- ・「思春期の子どもをもつ母親の養育ストレスと心理的ストレス反応、養育態度との関連」『皇學館大学教育学部学術研究論集』(2019)
- ・「保育者のストレスと専門性との関連－幼稚園教諭と保育士の比較より－」『皇學館大学紀要』(2018)
- ・「中学生における学校規模の社会的スキルトレーニングの実践－社会的スキルと自己効力感の変化－」『皇學館大学紀要』(2017)

#### 教育心理学特論

教育現場で頻発している不登校やいじめなどの問題に教育心理学の知見がどのように応用できるか。具体的な事例やワーク、議論によって実践力を獲得して、新しい指導方法を開発する視点を養う。

#### 教育臨床心理学特論

不登校やいじめなどの問題行動の予防の一環として、教育現場では様々な心理教育が行われており、その理論と実践について理解する。また学級経営について、心理学知見がどのように利用されているか学習する。

#### 教育評価・心理検査特論

子どもの「生きる力」の意味を理解し、その形成・評価のために教育活動の中で教師が留意すべき点を把握するとともに、教師に求められる教育実践について学習する。

#### 学校カウンセリング特論

学校カウンセリングの領域で、不適応や問題行動を抱える子どもやその保護者に対して、有効なカウンセリングについて学習する。児童生徒の健康で適切な発達を視野に入れた、児童生徒の成長・予防のカウンセリング、措置的なアプローチなどを学習する。

### 准教授 片山 靖富 (かたやま やすとみ)

**所属学会**◆日本体力医学会、日本肥満学会、日本公衆衛生学会、日本運動生理学会、American College of Sports Medicine (アメリカスポーツ医学会)、東海体育学会、日本体育・スポーツ・健康学会、日本運動疫学会、日本健康支援学会、日本教育医学会、日本臨床運動療学会、日本介護予防・健康づくり学会

**主な著書**◆『中高年者のための運動プログラム (病態別編)－症例による実際 (2. 糖尿病 1)－』(NAP 社、2007.7)、『健康づくりのための体力測定評価法－血液流動性の測定と評価－』(金芳堂、2007.11)、健康華齢のためのスマートライフ(サンライフ企画、2019.6)、健康運動実践指導者養成用テキスト(健康・体力づくり事業財団、2024.4)

**主な論文**◆ Evaluation of blood rheology in patients with cyanotic congenital heart disease using the microchannel array flow analyzer. (Clinical Hemorheology and Microcirculation 35, 2006)、運動介入期間中の日常生活における身体活動量の変化が活力年齢および体力年齢に及ぼす影響. (体力科学 57, 2008)、低頻度介入保健指導プログラム『スマートな若返り教室』の有効性. (肥満研究 15, 2009)、Determinants of blood rheology in healthy adults and children using the microchannel array flow analyzer. (Clinical and Applied Thrombosis/Hemostasis 16, 2010)、減量教室の講義回数を自由選択した時の効果－体重減少、脱落者数、1年後の体重維持に着目して. (日本公衆衛生雑誌 60, 2013)、日本人の成人男女が減量支援プログラムに対して抱くニーズ－インターネット調査の結果を用いた記述的研究－. (肥満研究 22, 2016)、運動習慣を定着することができた運動教室の事例報告：目標設定に着目して (介護予防・健康づくり研究 7, 2020)、運動教室で実践した運動強度が運動習慣の定着に及ぼす影響 (教育医学 66, 2021)、市民マラソン大会は運動を始める・運動量を増やすきっかけ、運動習慣の維持に関与しているか? (健康支援 24, 2022)、東京 2020 オリンピックは、大学生のスポーツへの関心や実践状況の向上に貢献したか? (教育医学 69, 2024)、スポーツライフ (運動習慣) 獲得を目的とした運動指導プログラム策定のヒント ～運動・スポーツ関心期の成人女性について～ (トレーニング科学 36, 2025)

#### スポーツ・健康学特論

身体活動、運動、スポーツが人の健康の保持増進に及ぼす影響について理解を深め、生涯にわたって健康的な生活を送り、活力ある社会を形成するためのスポーツの在り方を検討することを目的とする。加えて、健康関連指標の測定の方法と評価法についても理解する。

# 修士課程 募集要項

## 募集人員

教育学8名

(一般選考・社会人選考・現職教員特別選考・外国人選考)

## 出願資格

### ■一般選考・社会人選考・現職教員特別選考

- (1) 大学を卒業した者及び令和8年3月迄に卒業見込みの者。
- (2) 学校教育法第104条の規定により学士の学位を授与された者。
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。
- (6) 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。
- (7) その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

### ■外国人選考

各項のいずれかに該当する者。

- (1) 外国の国籍を有し、外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または令和8年3月迄に修了見込みの者。
  - (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者、または令和8年3月迄に卒業見込みの者。
  - (3) その他、本大学院において上記の(1)(2)に準じると認めた者。
- 各項のすべてに該当する者。
- (4) 「日本語能力試験」においてN1に認定された者、または日本留学試験〔日本語(記述式問題を含む)〕において日本語230点以上および記述30点以上を得点した者。
  - (5) 本大学院入学後は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得できる者。
  - (6) 本大学院入学から修了までの学費等を確実に支弁できる者。
  - (7) 日本に在住する身元保証人のある者。

## 出願期間・試験日

試験場：本学

|      | 出願期間                             | 試験日      | 合格発表     | 入学手続期間                                  |
|------|----------------------------------|----------|----------|-----------------------------------------|
| 一次募集 | 令和7年<br>9月8日(月)<br>～<br>9月16日(火) | 9月28日(日) | 9月29日(月) | (入学金・その他)<br>9月29日(月)<br>～<br>10月28日(火) |
| 二次募集 | 令和8年<br>2月2日(月)<br>～<br>2月9日(月)  | 2月22日(日) | 2月24日(火) | 2月24日(火)<br>～<br>3月10日(火)               |

\*出願は、学生支援部 入試担当にて9:00～17:00まで受け付けます。  
郵送の場合は締切日必着。

(土曜日の午後、日曜日、祝日は休業)

## 選考方法・学力検査・時間割

- (1) 選考は、学力検査・口頭試問・最終出身学校の学業成績によります。
- (2) 試験の成績によっては、入学定員に達しない場合でも入学を許可しません。

### 〈教育学専攻〉

#### ●一般選考

社会人選考・現職教員特別選考・外国人選考以外の志願者を対象とする。

|      |                  |             |
|------|------------------|-------------|
| 専門科目 | 専門分野における筆記試験     | 10:00～12:00 |
| 口頭試問 | 主として専攻の学科に関して行う。 | 13:00～      |

#### ●社会人選考

入学時に、学士取得後3年以上継続して社会的実務経験を有するものであること。(家事従事者を含む)

|               |                                                    |             |
|---------------|----------------------------------------------------|-------------|
| 専門科目<br>(小論文) | 1,000～1,200字<br>専攻の基礎学力について実施する。<br>(複数題の中から1題を選択) | 10:00～12:00 |
| 口頭試問          | 主として専攻の学科に関して行う                                    | 13:00～      |

#### ●現職教員特別選考

現職の教員として勤務する志願者を対象とする。

|      |                  |             |
|------|------------------|-------------|
| 専門科目 | 専門分野における筆記試験     | 10:00～12:00 |
| 口頭試問 | 主として専攻の学科に関して行う。 | 13:00～      |

#### ●外国人選考

外国人選考の出願資格を満たす志願者を対象とする。

|               |                                                         |             |
|---------------|---------------------------------------------------------|-------------|
| 専門科目<br>(小論文) | 1,000～1,200字(日本語)<br>専攻の基礎学力について実施する。<br>(複数題の中から1題を選択) | 10:00～12:00 |
| 外国語<br>(日本語)  | 文献を読解する学力について実施する。<br>[辞書の持ち込み可(電子辞書類を除く)]              | 13:00～14:00 |
| 口頭試問          | 主として各自の研究領域に関して試問する。(日本語)                               | 14:30～      |

## 出 願 手 続

### ◆出願書類

- (1) 出願確認票  
インターネット出願で登録後にプリンターで「出願確認票」を印刷し、送付してください。
  - (2) 入学志願者調書（本学所定）
  - (3) 卒業証明書または卒業見込証明書（最終出身大学）
  - (4) 単位成績証明書（最終出身大学。但し最終出身大学に編入学の場合は、編入学前の単位成績証明書も併せて添付）
  - (5) 研究計画書（本学所定）※教育学専攻出願者のみ
  - (6) 現職教員志願者調書（本学所定）※教育学専攻、現職教員特別選考入試出願者のみ
  - (7) 長期履修申請書（本学より送付）※希望者のみ
  - (8) 卒業論文または、それに相当する論文の写し。卒業論文を課せられなかった者は、専攻しようとする学科に関する小論文。（400 字詰原稿用紙 15 枚以上 20 枚以内。または 6000 字～8000 字以内。）
  - (9) 卒業論文または、それに相当する論文の要旨。（400 字詰原稿用紙 5 枚以内または 2000 字以内）一次募集出願者は（8）（9）共に不要。但し既卒者は（8）（9）共に必要。
  - (10) 入学検定料 30,000 円
- 【外国人選考】上記の他に以下の書類を提出してください。
- (11) 日本在住保証人届〔本学所定用紙〕
  - (12) 出願資格（1）である、『外国の国籍を有し、外国において学校教育における 16 年の過程を終了した者。または修了見込みの者』に該当する者は、外国出身学校の
    - ・卒業（修了）証明書または卒業見込み証明書
    - ・学業成績証明書
  - (13) 健康診断書〔本学所定用紙〕
  - (14) パスポートの写し〔氏名・生年月日・顔写真・旅券番号・有効ビザ等が確認できるページの写し〕
  - (15) 「在留カード」の両面の写し
  - (16) 「日本語能力試験」、「日本留学試験」の過去 2 年以内の成績証明書の写し

※日本語または英語以外の出願書類は、大使館等の公的機関から証明を受けた和訳文または英訳文も必ず添付してください。また、証明書等の氏名、生年月日は、パスポート記載と同一のものを提出してください。

※郵送の場合は、本学所定の封筒へ出願書類を封入のうえ、書留にて郵送してください。締切日必着。

※（2）・（5）・（6）・（7）・（11）・（13）は、皇學館大学受験生サイトからダウンロードしてください。

### ◆出 願 先 皇學館大学 学生支援部 入試担当

〒 516-8555 三重県伊勢市神田久志本町 1704

Tel 0596 - 22 - 6316（直）

## 合格発表について

- (1) インターネットによる合否案内は、皇學館大学ホームページの受験生サイトにて合格発表当日 10 時頃から利用できます。



### ◆注意

- (1) 手続期間経過後の入学手続きは、一切認めません。
- (2) 電話等による合否のお問い合わせには、一切応じません。

## 入学年度の納付金

（令和 8 年度 予定）

| 項 目   | 入学手続時     | 秋 学 期     | 備 考                                                                                 |
|-------|-----------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 入 学 金 | 200,000 円 | —         | 本学学部卒業生、本大学院修士課程及び博士前期課程の修了生並びに本学神道学専攻科の修了生は、入学金を免除し、教育充実費は半額とする。再入学の場合の入学金は、免除とする。 |
| 授 業 料 | 287,500 円 | 287,500 円 |                                                                                     |
| 教育充実費 | 50,000 円  | 50,000 円  |                                                                                     |
| 計     | 537,500 円 | 337,500 円 |                                                                                     |

入学手続時の納付金を完納した者が、令和 8 年 3 月 31 日（火）までに入学辞退を申し出た場合は、入学金を除いた納付金を返還いたしますので、該当の際は速やかに学生支援部入試担当までご連絡ください。

## 受験についての諸注意

1. 試験場の下見については、建物内への立入はできません。位置確認にとどめてください。
2. 荒天・交通スト・その他いかなる事情があっても、日時の変更はありません。
3. 試験当日は、試験開始時間の 20 分前までに指示された試験室に入室し、自分の受験番号の席についてください。
4. 受験票は各自印刷して必ず持参し、机の上に置いてください。万一、紛失したり、忘れたりした場合は、試験開始時間までに試験本部に申し出てください。
5. 試験開始から 20 分経過後は、試験室への入室・受験は認められませんので、遅れないよう注意してください。
6. 試験室では、HB の鉛筆（シャープペンシル）・消しゴム・鉛筆削り・時計（時計機能だけのもの）のみ使用できます。携帯電話等電子機器の電源、時計のアラーム等は必ず切っておいてください。
7. 試験室には、受験者以外の入室はできません。
8. 試験場内では、係員の指示に従ってください。
9. 試験時間中の退室はできません。
10. 昼食は各自で用意してください。
11. 試験当日、試験場、および駅周辺での合否連絡等の勧誘があっても、本学とは一切関係ありません。  
本学が試験当日に合否連絡について申込みをさせるようなことは、絶対にありません。